

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	03	ふれあい、参加、協働の推進
施策	01	コミュニティ活動の充実と支援

**目的**

地域における様々なコミュニティ活動を支える場と機会の充実を図ります。  
 区民を始めNPOなどの新しい市民組織やボランティア、地域で活動する企業など様々な活動主体の協働による地域問題等についての主体的な取組みを支援します。

**対象・手段**

地域におけるコミュニティ団体から提案された地域イベント・地域活動及び地域センター事業を支援することにより、地域交流を促進し住民主体の活動の充実を図ります。また、NPO等との協働事業や活動を促進するため、協働の過程で生じる具体的な問題を協議する場として「協働支援会議」の運営と、協働推進基金によるNPOへの財政支援を推進します。

**施策の方向**

IT機器等も活用し、地域の情報を提供していく中で、地域の課題を区民自らが考え、解決に向けて主体的に取り組むための協働の仕組みづくりを推進します。また、ボランティアやNPO等と地域活動との連携を図る等、住みよい地域社会づくりを支援します。

地域における区民の参加と交流、協働に向けた地域団体相互の連携の促進、交流と参加の場としての地域センターの活性化、コミュニティ活動への支援を計画的に進めます。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
ボランティア情報提供者数(人・団体)	(平成10年度) 2,309人・団体	(平成19年度) 3,657人・団体	(平成19年度) 6,525人・団体	目標を312%達成しました。

指標名の定義: 社会福祉協議会によるボランティア活動情報を希望のうえ提供された個人・団体の計

**成果指標**

指標名		定義		目標水準		
協働カレッジの開催		協働カレッジの受講終了者人数		(平成19年度) 100人	年度に100人の水準達成	
公募制自主事業数		自主事業の数		(平成19年度) 20件	年度に20件の水準達成	
事業参加者数		自主事業参加者数		(平成19年度) 6,855人	年度に6,855人の水準達成	
施策の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
施策成果指標	目標値1	人	100.00	100.00	100.00	
	実績1	人	37.00	88.00	68.00	
	目標達成率1 = /	%	37.00	88.00	68.00	
	目標値2	件	20.00	20.00	20.00	
	実績2	件	11.00	32.00	39.00	
	目標達成率2 = /	%	55.00	160.00	195.00	
	目標値3	人	6,855.00	6,855.00	6,855.00	
	実績3	人	5,085.00	15,034.00	20,041.00	
	目標達成率3 = /	%	74.18	219.31	292.36	

所管部	地域文化部
-----	-------

**主な取組み**

NPO活動資金助成の実施及び協働推進基金の趣旨普及(8団体に総額2,985千円の助成を行いました。)  
 趣旨普及として協働推進基金「NPO活動資金助成事業の案内」冊子を作成  
 地域リーダー養成講座「協働カレッジ基礎・ステップアップ講座」の開催  
 協働事業提案制度及び協働事業評価制度の実施  
 公募制自主事業の拡充の検討・実施

**課題**

NPO等との協働の環境づくりの推進のためには、新たな人材の発掘と地域における様々な主体をコーディネートできる地域リーダーの養成と活動の場の整備、また、NPOネットワーク協議会を中心とした区内の社会貢献活動団体のネットワーク化の促進による実効性のある組織づくりに引き続き取り組んでいく必要があります。さらに、NPOや地域団体などの社会貢献活動や協働事業のPRや報告の実施等により普及啓発を行い、多くの区民の地域活動への参画を促進していく必要があります。  
 公募制事業について、応募が多かった場合の評価方法を検討するとともに、公平性、透明性の観点からその評価方法の周知についての検討が求められています。

**評価**

総合評価	
<p>総合評価をBとした理由は、公募制自主事業数や参加者数では目標値を上回ったものの、寄附金及び協働カレッジの受講修了者数が目標値に達しなかったためです。</p> <p>サービスの負担と担い手          この施策のサービスは、NPOや地域のコミュニティ団体の主体的取組みを支援するもので、区は団体等の活動の場と機会の整備、活動資金の助成を担うものです。</p> <p>適切な目標設定          目標設定は地域における様々な主体の活動が求められていることから、人材育成や活動の機会の提供を行うもので適切です。</p> <p>効果的・効率的な視点          この施策はNPOや地域のコミュニティ団体の主体的取組みによる創意工夫を活かしていることから、効果的・効率的に行われています。</p> <p>目的の達成度          この施策は地域の人材育成やNPO等地域の活動団体の活動支援を行った結果、意図した成果に対して、協働カレッジの修了者数は68%、公募制自主事業数は195%、事業参加者数は292.36%を達成しました。</p>	B

**今後の取組み・改革の方針**

協働支援会議による協働事業提案と評価制度の円滑な運用の検討や、さらなる協働推進基金の趣旨普及とNPOのネットワークの充実を図るなど、NPO等との協働の環境づくりをさらに推進していきます。  
 また、公募制事業の評価方法の公平性・透明性を高めていきます。  
 この施策は、新宿区総合計画の基本施策「-1- 協働の推進に向けた支援の充実」、 「-2- コミュニティ活動の充実と担い手の育成」に引き継いで取り組みます。

**施策を構成する計画事業**

	総合評価	頁	総合評価	頁
NPO等との協働の環境づくりの推進	B	132		
地域協働事業への支援	B	134		